

## ◆ 中学社会 『公民』 で取り上げられている主な地域事例

※  の事例地の写真を裏面でご覧いただけます。

## 近畿地方

三重県志摩市（学校内に設けられた投票所で投票する10代の人たち） p.90  
三重県鈴鹿市（アフリカへの食糧支援のために行われた田植え） 巻末 ②  
三重県四日市市（海外へ輸出される国内産の牛肉） p.189  
滋賀県大津市（地方自治体の主な仕事：市役所の窓口） p.118  
滋賀県野洲市（自動運転バスの走行実験） p.186  
京都府京都市（競技かるたを通じた国際交流） 巻頭 ①  
京都府京都市（茶道を学ぶ留学生） p.24  
京都府京都市（築100年ほどの町屋を改装して開業したホテル） p.29  
京都府京都市（景観に配慮した外観で建てられたコンビニエンスストア） p.29  
京都府（「ツーリストシップ」の普及事業） p.141  
大阪府泉大津市（さまざまな雑誌や書籍が並ぶ図書館） p.8  
大阪府大阪市（顔認証システム：レジでの支払い） p.49  
大阪府大阪市（買い物客でにぎわう「生野コリアタウン」） p.51  
大阪府大阪市（実際の投票箱を使って行われた模擬投票） p.83  
大阪府大阪市（造幣局で行われた貨幣の重さの規定確認） p.129  
大阪府吹田市（会話ができる小型ロボット） 巻頭 ②  
大阪府東大阪市（町工場で作られる精密部品） p.186  
大阪府箕面市（各地の主な「法定外税」：開発事業等緑化負担税） p.120  
兵庫県尼崎市（実用化に向け試験飛行をする「空飛ぶクルマ」） 巻頭 ②  
兵庫県尼崎市（ロボットスーツを着て行う介護） p.61  
兵庫県尼崎市（物流倉庫内で商品を自動で運ぶロボット） p.136  
兵庫県神戸市（視覚障がい者誘導用ブロック〈点字ブロック〉に貼られた二次元コード） p.18  
兵庫県丹波篠山市（地域の課題を話し合う住民と学生） p.116  
奈良県御所市（水平社宣言記念碑） p.50  
和歌山県太地町（梶取崎にある「くじら供養碑」） p.228

## 中国地方

鳥取県江府町（飲料水の会社が取り組む森づくり活動） p.143  
鳥取県鳥取市（休耕中の田んぼにいる微生物の力で電気を作り出す「微生物発電」） 巻頭 ②  
鳥取県米子市（院内学級の授業） p.62  
島根県海士町（各地のさまざまな取り組み：「島留学生」の推進） p.122  
島根県大田市（自社で作った義足を持つ中村俊郎さん） p.168  
島根県隠岐の島町（竹島） p.199  
岡山県井原市（さまざまな条例：美しい星空を守る井原市光害防止条例） p.117  
岡山県岡山市（多言語対応をしている母子手帳） p.17  
岡山県岡山市（量刑などを決める評議を体験する模擬裁判の参加者ら） p.110  
岡山県岡山市（ドローンによる送水管の点検） p.162  
岡山県倉敷市（さまざまな社会資本：橋〈瀬戸大橋〉） p.158  
広島県広島市（最寄りの開設避難所への避難ルートの検索などができるシステム） p.19  
広島県広島市（スピーチを行うオバマ元アメリカ大統領） p.208  
広島県広島市（原子爆弾が投下された後の広島市内・被爆して黒く焦げた三輪車） p.208  
広島県福山市（鞆の浦の港、予定されていた埋め立てと架橋計画） p.66

## 九州地方

福岡県北九州市（400年続く「小倉祇園太鼓」） 巻頭 ①  
福岡県北九州市（「北九州市のドーアー」） p.Ⅱ  
福岡県北九州市（各地の主な「法定外税」：環境未来税） p.120  
福岡県北九州市（「環境未来税」で運営するエコタウン事業の蛍光管のリサイクル） p.160  
福岡県太宰府市（初詣のにぎわい） p.23  
福岡県太宰府市（各地の主な「法定外税」：歴史と文化の環境税） p.120  
長崎県佐世保市（米軍基地での住民交流） p.76  
長崎県佐世保市（さまざまな条例：子ども育成条例） p.117  
長崎県対馬市（絶滅危惧種の蝶の幼虫のエサになる、草の苗の植え付け） 巻末 ②  
長崎県長崎市（世界遺産の「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の一つ、大浦天主堂） p.57  
長崎県長崎市（平和祈念式典） p.74  
長崎県長崎市（地方議会の議場） p.118  
長崎県長崎市（爆心地公園内に展示された「キッズゲルニカ」の作品） 巻末 ②  
熊本県荒尾市（「お絵描きタウン」） p.23  
熊本県熊本市（熊本市内を走る路面電車、段差がほとんどない乗降口） p.178  
熊本県熊本市（アジア初のフェアトレードシティ、生産者たちへの支援） p.215、巻末 ①  
熊本県合志市（菊池恵楓園歴史資料館、ハンセン病問題に取り組む学校） p.55  
熊本県水俣市（水俣病の公害による被害） p.182  
熊本県南小国町（移住者向けの起業講座） p.138

## 中部地方

新潟県粟島浦村（各地のさまざまな取り組み：「粟島しおかぜ留学生」） p.122  
新潟県小千谷市（さまざまな生産：「雪ざらし」による織物づくり） p.138  
新潟県上越市（幼老複合施設での交流） p.61  
新潟県十日町市（棚田） p.24  
新潟県長岡市（「になニーナ」での人々の交流、仮設住宅から始まった「になニーナ」の取り組み） p.13、20  
新潟県長岡市（さまざまな地方自治体の庁舎：新潟県長岡市役所） p.117  
新潟県新潟市（住民投票での賛成派と反対派の運動〈旧巻町〉） p.119  
富山県立山町（水力発電） p.220  
富山県南砺市（世界文化遺産に登録されている白川郷・五箇山の合掌造り集落） p.24  
福井県勝山市（小型バスによる移動期日前投票所） p.91  
山梨県都留市（走行実験中のリニア中央新幹線） p.22  
山梨県都留市（小水力による発電） p.221  
山梨県富士河口湖町（各地の主な「法定外税」：遊漁税） p.120  
山梨県（さまざまな公共サービス：防災ヘリコプター） p.158  
長野県高山村（無人車によるりんごの授粉の実証実験） p.19  
長野県長野市（景観に配慮したコーヒーストア） p.184  
岐阜県岐阜市（署名簿を県の担当者に提出して、請願する中学生） p.64  
岐阜県（各地の主な「法定外税」：乗鞍環境保全税） p.120  
静岡県熱海市（各地の主な「法定外税」：別荘等所有税） p.120  
静岡県御殿場市（自衛隊の主な役割：演習場での訓練） p.75  
静岡県静岡市（避難所のルールを考える人々、避難所運営ゲーム「避難所HUG（ハグ）」） p.13、34  
静岡県浜松市（井天島花火大会） p.26、27  
静岡県浜松市（世界文化遺産に登録されている白川郷・五箇山の合掌造り集落） p.24  
静岡県浜松市（地域政治について意見を述べる中学生） p.83  
静岡県浜松市（太陽光発電） p.220  
愛知県豊明市（遠隔手術の実証実験） p.22  
愛知県豊橋市（障がいのある人の収入改善を目指すチョコレート店） p.181  
愛知県名古屋市長（自動搬送ロボット） p.18  
愛知県（さまざまな条例：食と緑を支える県民の豊かな暮らしづくり条例） p.117

## 北海道地方

北海道石狩市（地方自治体の主な仕事：除雪・排雪） p.118  
北海道・択捉島（折り紙などが行われた、択捉島での文化交流会） p.201  
北海道帯広市（災害情報が表示された「防災情報共有システム」の画面） p.19  
北海道倶知安町（さまざまな条例：みんなで親しむ雪条例） p.117  
北海道札幌市（果物のせり） p.129  
北海道札幌市（日本の企業が開発した世界初の医療機器） p.141  
北海道札幌市（伴走者と走る視覚障がいのあるランナー） p.179  
北海道札幌市（北方領土返還を求める看板） p.198  
北海道斜里町（市民の力で乱開発を防ぎ、世界自然遺産にも登録された知床国立公園） 巻頭 ①

北海道白老町（民族共生象徴空間「ウポポイ」でアイヌの古式舞踊を披露する人たち） p.25、51  
北海道名寄市（「コロナいじめゼロ宣言」のポスター） p.53  
北海道ニセコ町（各地のさまざまな取り組み：環境・景観保全と観光） p.122  
北海道根室市（「北方領土の日」の住民大会） p.198  
北海道函館市（さまざまな社会資本：港〈函館港〉） p.158  
北海道平取町（国会で質問する萱野茂さん） p.51  
北海道稚内市（宗谷丘陵と風力発電） 表紙、p.220  
北海道（各地の主な「法定外税」：循環資源利用促進税） p.120

## 東北地方

青森県青森市（職業体験を行う中学生） p.144  
青森県田舎館村（観光収入を支える田んぼアート） p.121  
青森県鶴田町（さまざまな条例：朝ごはん条例） p.117  
青森県・秋田県（白神山地） p.230  
岩手県一関市（大漁旗を掲げて植樹する人々） p.187  
岩手県大槌町（避難所となった学校の体育館） p.34  
岩手県釜石市（東日本大震災の鎮魂と、未来への希望を込めてともした「3・11」あんどん） 巻頭 ②  
岩手県釜石市（「いのちをつなぐ未来館」、語り部の話を聞く学生たち） p.27  
岩手県釜石市（民泊する外国人） p.104  
岩手県北上市（ユネスコにより世界無形文化遺産に登録された風流踊「岩崎鬼剣舞」） p.202

岩手県住田町（さまざまな地方自治体の庁舎：岩手県住田町役場） p.117  
岩手県遠野市（各地のさまざまな取り組み：「で・くらす遠野」） p.122  
岩手県盛岡市（復興支援音楽祭で「さんさ踊り唄」に合わせて歌い踊る学生） p.23  
岩手県盛岡市（スマートフォンを利用した送金） p.155  
宮城県女川町（学校の建設） p.162  
宮城県仙台市（地方自治体の主な仕事：図書館） p.118  
宮城県仙台市（eスポーツを生かした認知症予防の検証） p.176  
宮城県丸森町（台風の被災地を訪問された天皇、皇后両陛下） p.47  
秋田県大館市（各地のさまざまな取り組み：「秋田犬」を観光大使に） p.122  
秋田県横手市（自衛隊の主な役割：被災地への派遣） p.75  
山形県金山町（子ども歌舞伎を演じる児童たち） p.24  
福島県大熊町・双葉町（事故後の福島第一原子力発電所） p.221  
福島県矢祭町（合併しないことを選んだ矢祭町の役場内） p.122

## 関東地方

茨城県大洗町（各地のさまざまな取り組み：「アニメ」とのコラボ） p.122  
茨城県坂東市（さまざまな公共サービス：博物館） p.158  
埼玉県熊谷市（バラ陸上日本選手権） 裏表紙  
埼玉県さいたま市（裁判員裁判〈模擬裁判〉） p.110  
埼玉県所沢市（バイオ燃料で走るバス） 巻末 ①  
千葉県木更津市（財政投融资が活用された東京湾アクアライン〈海ほたるPA〉） p.163  
千葉県成田市（成田国際空港内の顔認証システム） ほか p.49、196 ほか  
千葉県（さまざまな条例：障害のある人もない人も共に暮らしやすい千葉県づくり条例） p.117  
千葉県（「上総堀り」の井戸掘り技術支援） p.217  
東京都あきる野市（「五日市憲法草案」が発見された土蔵） p.43  
東京都荒川区（夜間学級の授業、給食を食べる夜間学級の生徒たち） p.62  
東京都大田区（国内のベンチャー企業が開発した小型月面探査車「YAOKI」） p.129、140  
東京都小笠原村（小笠原諸島の二頭のミナミハンドウイルカ） p.Ⅰ－Ⅱ  
東京都国立市（多様なコミュニケーションがあふれるコーヒーストア） p.129、181  
東京都江東区（魚市場のせり） p.150  
東京都品川区（電子マネーによる支払い） p.133  
東京都渋谷区（東京レインボープライド2022） p.54  
東京都渋谷区（デモ行進を行う人々） p.67  
東京都新宿区（新型コロナウイルス感染症対策の掲示板） p.12  
東京都新宿区（JICA地球広場） p.233、235、236  
東京都墨田区（東京スカイツリー） p.26  
東京都世田谷区（新型コロナウイルス感染症の治療に関わる医療従事者への感謝を表したブルーインパルスの飛行） 巻頭 ②  
東京都中央区（遠隔操作されたロボットがサービスを提供するカフェ） p.13、22

東京都中央区（日本銀行） p.154  
東京都中央区（東京証券取引所） p.156  
東京都中央区（世界の株式市場の株価を知らせるボード） p.164  
東京都千代田区（オフィス内にある託児スペース） p.21  
東京都千代田区（公開された日本国憲法の原本） p.39  
東京都千代田区（国の機関が多く集まっている地域〈霞が関周辺〉） p.102  
東京都豊島区（各地の主な「法定外税」：狭小戸集住住宅税） p.120  
東京都豊島区（災害時にも活用される地域の公園〈イケ・サンパーク〉） p.179  
東京都町田市（さまざまな社会資本：公園〈薬師池公園〉） p.158  
東京都港区（開催された「eスポーツ」の国際試合） 巻頭 ①  
東京都（ドローンで医薬品を配送する実証実験） p.19  
東京都（各地の主な「法定外税」：宿泊税） p.120

神奈川県川崎市（自分たちが暮らす町の魅力を伝える高校生、町の未来について話し合う高校生） p.56、巻末 ①  
神奈川県川崎市（「外国人市民代表者会議」のしくみ） p.123  
神奈川県川崎市（「子ども夢パーク」、川崎市子どもの権利に関する条例） p.124  
神奈川県川崎市（「こどもフェスタ」、ミュージアムシンフォニーホール） p.124  
神奈川県川崎市（川崎ワカモノ未来PROJECT） p.128  
神奈川県藤沢市（車いすのまま遊べる遊具） 巻末 ②  
神奈川県大和市（バーチャルフィッティング） p.139  
神奈川県横須賀市（さまざまな生産：自動車工場） p.138  
神奈川県横浜市（クリスマスマーケット） p.25  
神奈川県横浜市（小学校で行われた出張授業） p.54

## 四国地方

徳島県阿南市（移送支援サービスを利用して買い物をする高齢者） p.137  
徳島県上勝町（不用品を無料で譲り合える施設） p.183  
徳島県神山町（各地のさまざまな取り組み：「神山プロジェクト」） p.122  
徳島県徳島市（阿波踊り） p.25  
徳島県（さまざまな条例：エシカル消費条例） p.117  
香川県観音寺市（農場で働く外国の人たち） p.17  
香川県坂出市（さまざまな社会資本：橋〈瀬戸大橋〉） p.158  
愛媛県松山市（いじめ防止について話し合う小・中学生） p.49

愛媛県松山市（さまざまな地方自治体の庁舎：愛媛県庁） p.117  
高知県馬路村（ゆずの加工品を製造する「ゆずの森加工場」） p.186  
高知県香美市（自分たちが暮らす地域の商品を販売する中学生） p.169  
高知県宿毛市（バイオマス発電） p.220  
高知県土佐町（各地のさまざまな取り組み：「自伐型林業」） p.122、187  
高知県室戸市（「むろと廃校水族館」のプールで泳ぐウミガメ） p.116  
高知県（文字を初めて覚えた、高知県のある女性の詩） p.50

◆各地の様々な事例の教科書掲載場面

学習から興味や関心を広げていくコラム！

「〇〇の窓」！

各分野、窓のテーマは本当に多様で個性的です。  
窓を開けてテーマから吹き込む風で、個別最適  
な学びが深まるように期待しています。



共通

地理の窓 シラスを生かした環境対策

鹿児島県は、シラスを地域資源の一つとして利用するために研究を重ね、シラス製のコンクリートや瓦、ブロックなどを開発しました。シラスブロックには、保水性が高く、表面温度が低いという特性があります。鹿児島市は、夏の気温上昇をおさえるための対策の一つとして市電の軌道にシラスブロックと芝生を組み合わせた緑化を行っています。これには都市の景観にうるおいを与え、騒音を弱める効果も認められています。シラスブロックは軽いので、ビルの屋上緑化にも利用できます。シラスを原料とした、生活に役立つ製品の開発が今後も期待されています。



緑化された路面電車の軌道敷  
(2022年 鹿児島県鹿児島市)

↑p.177(地理)

公民の窓 森・海・川の再生へ

「森は海の恋人」を合言葉に、森・海・川を一体のものとして再生していく「漁民の森運動」が、全国で盛んに行われています。林業の衰退とともに、経済的な理由から手入れされなくなってしまう森林からは、栄養豊富な水を川や海に供給することができません。そこで漁師の人たちは、流域に住む人々と協力して森に木を植えたり、スギやヒノキの生育作業を手伝ったりしています。一方、森林に暮らす人々も漁場を訪れ、森と海がお互いにとって大切な存在であることを実感する交流が行われています。



大漁旗を掲げて植樹する  
(2017年 岩手県一関市)

↑p.187(公民)

歴史の窓 オホーツク文化と摩文文化

樺太(サハリン)から根室半島、千島列島にかけてのオホーツク海沿岸の地域には、5世紀ごろから、漁や、アザラシ・トド・クジラなどの狩猟を営み、犬や豚を飼って生活を営む人々が現れました。この地域の人々は、独自の特徴をもつ土器を作り、9世紀ごろまでの間、オホーツク文化を形づくっていました。また同じころ、北海道から東北地方の北部にかけて、木片でこすった文様がある土器を使用する摩文文化が形づくられました。漁や狩猟、採集、罾や罾などの農耕を生業とする摩文文化は、13世紀ごろまでにはアイヌ文化へと発展していきました。



海の動物の牙で作られたクマの像  
(網走市立土曜博物館蔵)

↑p.81(歴史)

これまで学んだことを、少し  
違う視点から捉え直したり、  
さらに一歩踏み込んで深めたり、  
そんな『窓』になることを  
願っています。



ダイナミックな写真資料



地理

ダイナミックな写真としてだけでなく、社会との関わりなど、多様な視点から読み取ることができる資料を取り上げています。

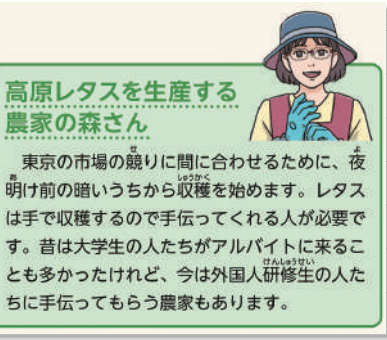
↑p.262  
「知床五湖の高架木道」  
(北海道斜里町)

社会に生きる人々の営み



↑p.224  
「9月に行われるレタスの収穫」(長野県南牧村)

資料と地域の声を合わせ、  
関わる人の顔や営みが見える  
事例を扱っています。



高原レタスを生産する  
農家の森さん  
東京の市場の盛り間に間に合わせるために、夜明け前の暗いうちから収穫を始めます。レタスは手で収穫するので手伝ってくれる人が必要です。昔は大学生の人たちがアルバイトに来ることも多かったけれど、今は外国人研修生の人たちに手伝ってもらった農家もあります。

「今」を映す

世の中の「今」を学べる、  
時勢に配慮した事例を扱い、  
現在の姿や課題を意識  
することができます。



↑p.183  
「焼失後の整備が進む首里城」(沖縄県那覇市)

↑p.233  
「開通が迫る芳賀・宇都宮LRT」  
(栃木県宇都宮市)  
※今後、開通後の最新の写真に  
更新予定です。

地域の特色が表れた資料を掲載し、生徒の興味・関心だけでなく、  
疑問や気づきを引き出すことができるようにしています。

見方・考え方の視点が活きる

地域の特色が写真を比較することで際立って見えてきます。



↑p.154「2月の様子」(左:沖縄県今帰仁村、右:山形県山形市)



読み解きが楽しくなる資料

思わず読み解きたくなる資料を大きく鮮明に  
掲載し、情報活用能力を育みます。



↑p.96-97「江戸図屏風」(東京都)



歴史

今の自分とつながる資料

過去と現在を比較したり、現在まで残る文化  
を知ることで、生徒が歴史を身近に感じられる  
よう工夫しています。



↑p.176「沖縄の郷土料理」



↑p.252  
「1945年、2022年の東京都 銀座」

日本が誇る世界遺産

世界遺産も多く取り上げ、伝統・文化とその  
保存活動への関心につなげています。

p.54→  
「三内丸山遺跡」  
(青森県青森市)



↓p.112



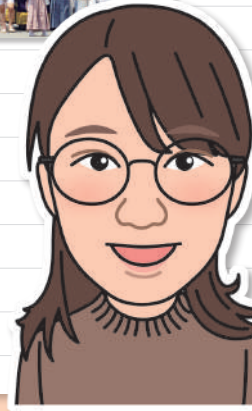
「富岡製糸場」  
↓p.170 (群馬県富岡市)



↑p.82「室町時代と現在の祇園祭」(京都府京都市)



生徒が実感しやすいような、  
具体的な街の様子や人々の暮らし  
の資料を多く掲載しています。



ダイナミックな写真資料



地理

ダイナミックな写真としてだけでなく、社会との関わりなど、多様な視点から読み取ることができる資料を取り上げています。

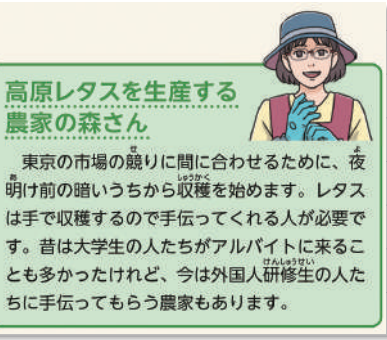
↑p.262  
「知床五湖の高架木道」  
(北海道斜里町)

社会に生きる人々の営み



↑p.224  
「9月に行われるレタスの収穫」(長野県南牧村)

資料と地域の声を合わせ、  
関わる人の顔や営みが見える  
事例を扱っています。



高原レタスを生産する  
農家の森さん  
東京の市場の盛り間に間に合わせるために、夜明け前の暗いうちから収穫を始めます。レタスは手で収穫するので手伝ってくれる人が必要です。昔は大学生の人たちがアルバイトに来ることも多かったけれど、今は外国人研修生の人たちに手伝ってもらった農家もあります。

「今」を映す

世の中の「今」を学べる、  
時勢に配慮した事例を扱い、  
現在の姿や課題を意識  
することができます。



↑p.183  
「焼失後の整備が進む首里城」(沖縄県那覇市)

↑p.233  
「開通が迫る芳賀・宇都宮LRT」  
(栃木県宇都宮市)  
※今後、開通後の最新の写真に  
更新予定です。

地域の特色が表れた資料を掲載し、生徒の興味・関心だけでなく、  
疑問や気づきを引き出すことができるようにしています。

見方・考え方の視点が活きる

地域の特色が写真を比較することで際立って見えてきます。



↑p.154「2月の様子」(左:沖縄県今帰仁村、右:山形県山形市)



迫力ある写真資料から捉える

興味・関心を高める導入写真から、  
多面的・多角的な視点を養えます。



「むろと廃校水族館」  
(高知県室戸市)  
↓p.116

「未来」につなげるアクションを知る

「いのちをつなぐ未来館」の想い

2011年3月11日に発生した大地震と大津波は、東日本を中心に多くの人々に被害をもたらしました。岩手県釜石市で2019年に開設した「いのちをつなぐ未来館」は、東日本大震災のできごとや教訓を後世に伝え、次世代になう子どもたちを主な対象とした防災学習施設です。大震災の記憶や教訓とともに、過去の経験から取り組み続けてきた、独自の防災学習などを紹介する展示スペースがあり、企画展、ワークショップ、語り部の活動などが開催されます。地元の小・中学生や地域住民をはじめ、修学旅行生や企業研修の受け入れなど、市内外からの来館者に防災学習体験プログラムを提供しています。



被災地に建てられた「いのちをつなぐ未来館」



語り部の話を聞く学生たち

公民

↑p.27  
「いのちをつなぐ  
未来館」  
(岩手県釜石市)

見方・考え方の視点で深める

「見方・考え方」の視点で過去と現在を比較しています。



↑p.182 (熊本県水俣市)

多様な姿を学ぶ

人々のさまざまな姿から、  
多様な文化や考え方が学べます。



↑p.54「東京レインボープライド2022」(東京都渋谷区)



身近な地域の写真  
を通して、現代社会の課題を捉えやすくなりました。

